

報道関係者各位  
(送付枚数: 計4枚)

2021年10月7日  
株式会社 oricon ME

在宅8割がテレワークのための経費相談しない理由とは  
**全国7,908名が回答した『在宅勤務』に関する実態調査発表**  
**完全在宅勤務は2割以下、在宅と出社のハイブリッド型が過半数 53.1%**  
**在宅勤務補助手当の支給があった人は46.9%**  
**在宅勤務のための費用精算「相談しなかった」8割以上**  
**「精算する考えがなかった（私用でもあるから）」70.2%、「遠慮した」人も12.3%**

“見えない満足を可視化する”をコンセプトに、第三者の立場で顧客満足度調査を実施する株式会社oricon ME（読み:オリコン エムイー 本社:東京都港区 代表取締役社長:小池恒）では、2021年6月3日～21日の期間、全国7,908名を対象に、『Web会議ツール』『ビジネスチャットツール』の満足度調査を実施いたしました。集計結果は、先日10月1日にランキングとして発表しておりますが、今回はその調査から得た、『在宅勤務』の実態調査についての結果を報告いたします。

新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴い、テレワーク・在宅勤務が本格導入されて2年目。在宅が続き、自宅のデスクやワークチェアなどを購入してデスク環境を整備した人も多い一方で、在宅勤務のための費用に伴う手当や補助については、企業の規模や業種によって対応が様々です。そうしたなか、実際の在宅手当の支給や経費精算の状況について聴取したところ、以下のような結果となりました。



## 《TOPICS》

- 在宅勤務実施率、完全在宅は2割以下、在宅と出社のハイブリッド型が過半数 53.1%
- 在宅勤務補助手当の支給があった人は46.9%
- 企業規模が大きくなるにつれて「日数単位での支給」の割合が増える傾向に
- 在宅補助手当、日数単位では200円台、月単位では3～4,000円台が最多
- 在宅勤務のための費用精算「相談しなかった」8割以上
- 「精算する考えがなかった（私用でもあるから）」70.2%、「遠慮した」人も12.3%

## <調査概要>

- 調査主体：oricon ME（オリコン エムイー）
- 調査名：2021年 オリコン顧客満足度®調査『在宅勤務』に関する実態調査レポート
- 回答者数：7,908名
- 調査期間：2020/6/3～2021/6/21
- 調査対象者 性別：指定なし 年齢：18～69歳 地域：全国  
条件：現在、ビジネスシーン(副業含む)で3ヶ月以上かつ週1日以上Web会議ツールを利用している人（または3ヶ月以上かつ週3日以上ビジネスチャットツールを利用している人）

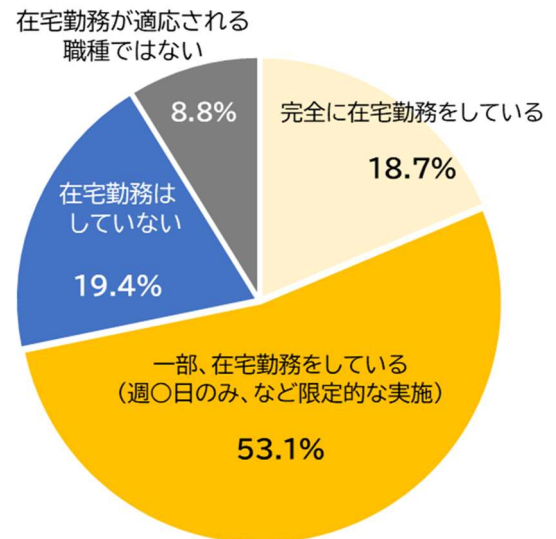
【お問い合わせ先】 ml-cspr@oricon.jp TEL：03-5785-5628  
オリコン顧客満足度ランキング広報窓口 長谷川／田中／辻

## ■在宅勤務実施率、完全在宅は2割以下、在宅と出社のハイブリッド型が過半数 53.1%

今回の調査期間中（2020/6/3～21）、『現在の在宅勤務実施の状況』について聴取したところ、「完全に在宅勤務をしている」は18.7%にとどまり、「一部、在宅勤務をしている（週〇日のみ、など限定的な実施）」の“在宅と出社のハイブリッド型勤務”が過半数を超え53.1%と最も多く、次いで「在宅勤務は実施していない」（19.4%）が続きました。

（なお、今回の調査期間中は対象都道府県に3回目の「緊急事態宣言」及び「まん延防止等重点措置」が発令されていました。）

在宅勤務の実施状況（2021年6月時点）  
（n=7,908）

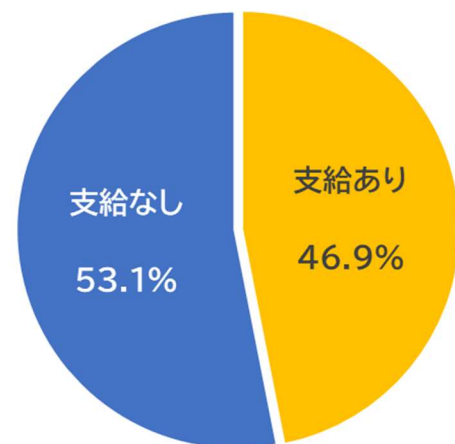


## ■在宅勤務補助手当の支給があった人は46.9%

在宅勤務を実施したことがある人を対象に、電気代や通信費、パソコンの周辺機器、デスクまわりの購入費など、『自宅で仕事をするための補助手当（会社が費用を負担）の有無』について聴取したところ、「支給あり」が46.9%、「支給なし」が53.1%となりました。

在宅勤務補助手当の有無

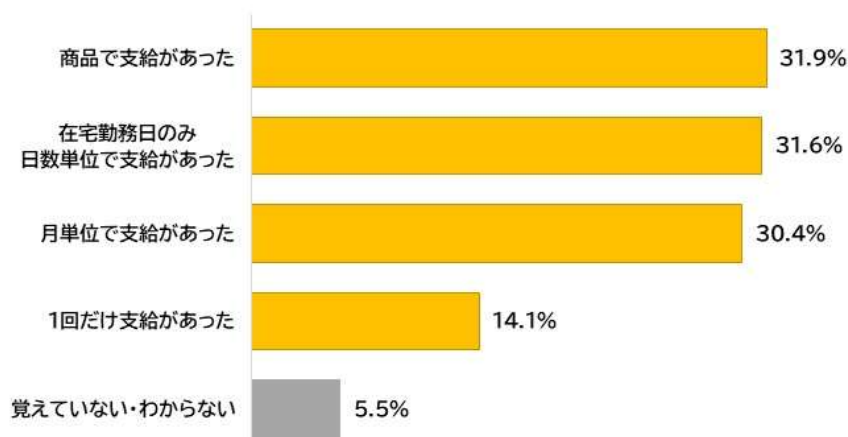
（n=6,519 在宅勤務を実施したことがある人）



## ■在宅勤務補助手当の内容、商品での支給が最多

つづいて、「補助手当の支給があった」と回答した人を対象に、『在宅勤務補助手当の内容＜複数回答＞』を聴取したところ、デスクやパソコン周辺の接続機器といった「商品で支給があった」が31.9%と最も多く、以下、実際の経費として「在宅勤務日のみ日数単位で支給があった」（31.6%）、「月単位で支給があった」（30.4%）、「1回だけ支給があった」（14.1%）の順に多い結果となりました。

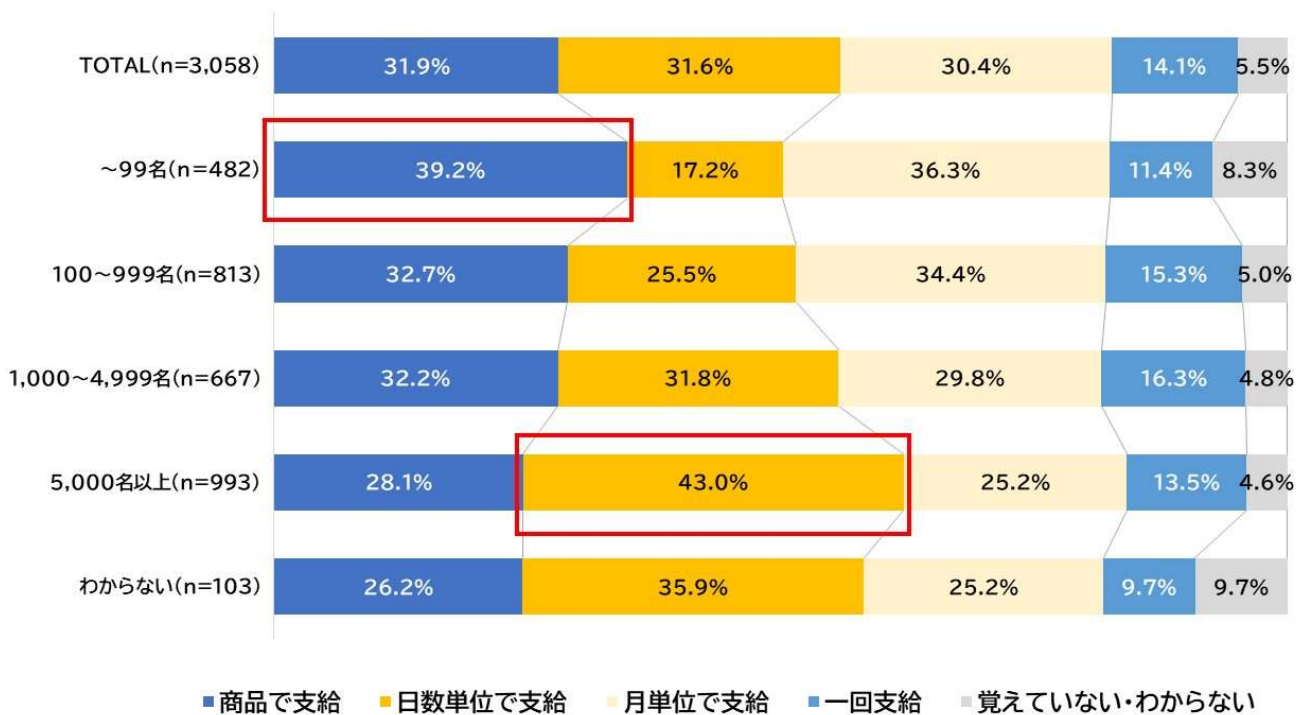
在宅勤務補助手当の内容 ＜複数回答＞  
（n=3,058 在宅勤務手当や補助があったと回答した人）



## ■企業規模が大きくなるにつれて「日数単位の支給」の割合が増える傾向に

なお、『在宅勤務補助手当の内容＜複数回答＞』について、企業規模別での割合を見てみると、「99名以内」では「商品での支給」（39.2%）が、「5,000名以上」では「日数単位で支給」（43.0%）が、それぞれ最多に。企業規模が大きくなるにつれて、「商品での支給」の割合は少なくなり、実際の経費として「在宅勤務日のみ日数単位で支給」の割合が増えている傾向が見られます。

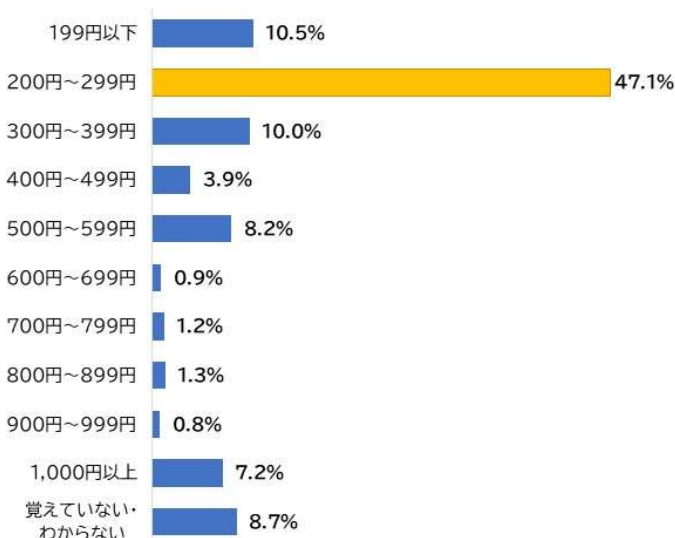
【企業規模別】在宅勤務補助手当の支給内容＜複数回答＞



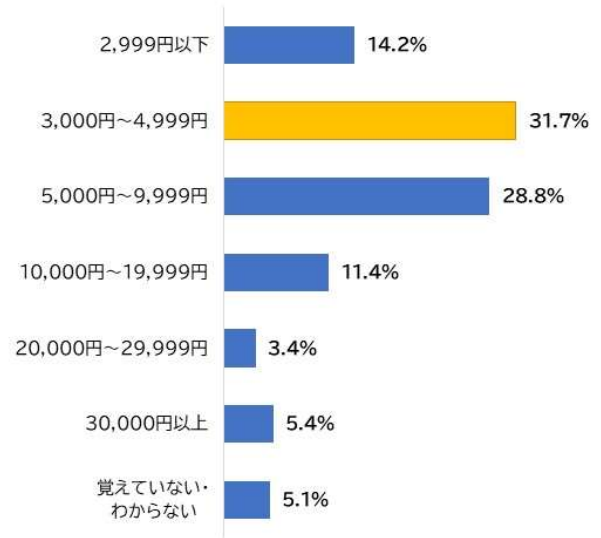
## ■在宅補助手当、日数単位では200円台、月単位では3~4,000円台が最多

実際の支給額について聴取したところ、日数単位では「200円~299円」（47.1%）、月単位では「3,000円~4,999円」（31.7%）が、それぞれ最も多いという状況となりました。

日数単位での支給額 <単一回答>  
(n=966)



月単位での支給額 <単一回答>  
(n=930)



## ■在宅勤務のための費用精算 「相談しなかった」8割以上

つづいて、在宅勤務を実施したことのある人のうち、“在宅勤務のために新たに買った商品、買い換えた商品があった”人を対象に、『費用精算について相談したかどうか』について聴取したところ、「相談しなかった」（82.9%）が、8割以上となりました。

## ■「精算する考えがなかった」70.2%、 「遠慮した」人も12.3%

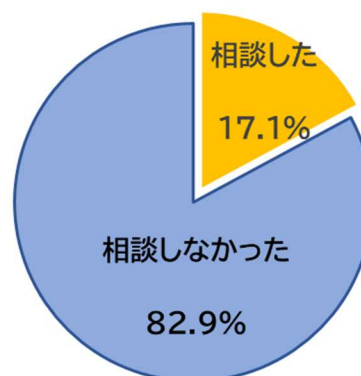
『相談しなかった理由』については、「そもそも、精算する考えがなかったから（プライベートでも使うため）」（70.2%）、「なんとなく、気が進まなかったから（精算を考えたが、遠慮した）」（12.3%）、「在宅手当として支給されたから」（8.9%）が続く結果に。

回答者からは「相談したところで断られると思ったから（女性・20代）」、「相談前に他の人が聞いて、対象外と言われていた（女性・30代）」、「精算可否に関するルールが無かった（女性・30代）」、「プライベートで使わないが、これ位はもういいやと思った（女性・40代）」、「通勤手当がそのまま出ているから（男性・50代）」、「利便性を高めるのは個人で経費処理はできないと判断した（男性・50代）」等の声がありました。

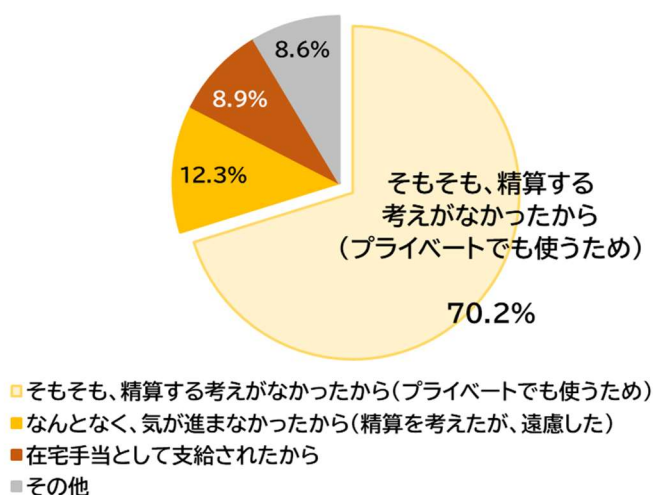
また、「在宅手当として支給されたから」と回答した人以外に、『最終的に経費精算したか』を聴取したところ、95.7%が「経費精算しなかった（できなかった）」と回答。在宅勤務のために購入した商品に関しては、プライベートとの区別が難しく、経費の相談を遠慮してしまう傾向が多いようです。

なお、『経費精算できなかった商品』について主な回答としては、「オフィスチェア・ゲーミングチェア」、「パソコン」、「Wi-Fiルーター（中継機など）」、「デスク」、「イヤホン」、「パソコンモニター（ディスプレイ）」、「照明・デスクライト」などのほか、「季節・空調家電」や「スマホスタンド」、「ディフューザー」などがありました。

在宅勤務のための費用精算について  
(n=4,516 在宅勤務のために、商品を購入、または  
買い換えた商品がある人)



相談しなかった理由  
(n=3,742 在宅勤務のための費用精算を  
相談しなかった人)



## ■2021年 オリコン顧客満足度®調査『Web会議ツール』『ビジネスチャットツール』

〈Web 会議ツール〉 <https://life.oricon.co.jp/rank-video-conferencing-tool/>

〈ビジネスチャットツール〉 <https://life.oricon.co.jp/rank-business-chat-tool/>

■「オリコン顧客満足度®」公式サイト ⇒<https://life.oricon.co.jp/>

■オウンドメディア「ミチタリ by オリコン顧客満足度」 ⇒<https://cs.oricon.co.jp/michitari/>

■「オリコン顧客満足度®」調査・ランキング方法について ⇒<https://cs.oricon.co.jp/method/>



※オリコン顧客満足度®調査に関する本ニュースリリースは報道用資料です。  
報道目的以外での掲載データおよび掲載ランキングのご使用はご遠慮ください。

【お問い合わせ先】 ml-cspr@oricon.jp TEL : 03-5785-5628  
オリコン顧客満足度ランキング広報窓口 長谷川/田中/辻